

三つの方針

—全学・大学—

<大学>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

立正大学は、各学部学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・建学の精神を貴ぶ姿勢を有している。
- ・モラル・学識と専門性・能力を掛け合わせながら社会に貢献しようとする公共的使命を持ち、生涯にわたって学び成長し続ける豊かな人間性と自律性を身につけている。
- ・人や文化の多様性を受容し、他者と協働して新しい価値を創造しようとする態度を身につけている。
- ・人間・社会・地球と積極的に関わり、主体的に行動しようとする視点を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・人間・社会・地球の諸課題を発見し、その機序を探求しようとする思考力を有している。
- ・人間・社会・地球の諸課題を解決するために、論理的・批判的に判断することができる。
- ・自らの考えを他者に理解されやすいように表現することができる。
- ・生涯を見通しながら現在の学びを計画するキャリア形成力を身につけている。

<知識・理解>

- ・所属学部学科の専門分野についての全般的な知識を身につけ、理解している。
- ・所属学部学科の特定の専門分野についての応用的な知識を身につけ、理解している。
- ・人間・社会・地球に関する基礎的な知識を身につけ、理解している。
- ・外国語運用能力およびその背景にある当該外国の文化・歴史等に関する知識を身につけ、理解している。

<技能>

- ・日本語・外国語の表現力やメディアリテラシー・情報倫理を含む、コミュニケーション能力を身につけている。
- ・修得した知識・技能・態度等を統合化し、活用する力を身につけている。
- ・複合的・多面的な領域への学修経験がある。
- ・課題を発見し、探究し、解決し、表現する力を身につけている。
- ・論理的・批判的思考力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

立正大学では、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

入学者受入れの方針 (AP)

立正大学では、下記のような学力を備えた者を求めています。

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・世のため人のために自らを役立てることに喜びを感じ、そのためにこそ人格的・学問的に自分を磨く努力を惜しまない者。
- ・学びを社会的に実践し、これを再び学びや人格形成に反映させることのできる者。
- ・有限で多様な個性を資源として尊重し、有機的につながり合わせ、活かし活かされようとする態度を身につけている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・身に付けた知識・技能を活かしながら、課題を発見し、探究し、解決し、表現できる者。
- ・他者を尊重し活かした思考とコミュニケーションによって相乗的に物事を進めることができる者。
- ・異知を融合化させて新しい価値を創造できる者。

<知識・技能>

- ・当該学部学科の専門分野に関する基礎的な知識・技能を十分備えている者。
- ・当該学部学科の専門分野に関する時事問題に関心・知識を有している者。

—各学部—

<仏教学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

仏教学部は、各学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ 仏教に説かれる人間の生き方についての洞察を活かし自己の向上に努めることができる。
- ・ 仏教に説かれる慈悲の精神に基づき社会に貢献しようとするすることができる。

<思考・判断・表現>

- ・ 仏教に関する幅広い知識に基づき、多様な観点から思考・判断することができる。

<知識・理解>

- ・ 仏教に関する幅広い知識を身につけている。

<技能>

- ・ 仏教に関する諸資料を読みとることができる。

「宗学科」

仏教学部宗学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ 他者に対する慈しみと敬いの心を持って接することができる。
- [法華仏教コース]
- ・ 日蓮聖人の思想と行動や日本仏教の思想を学び、使命感をもって社会の諸問題に対応することができる。
 - ・ 幅広い教養を身につけるとともに、現代社会が直面する諸問題に関心を持っている。

[日本仏教コース]

- ・ 日蓮聖人や日本仏教の思想を学び、使命感をもって社会の諸問題に対応することができる。
- ・ 幅広い教養を身につけるとともに、現代社会が直面する諸問題に関心を持っている。

<思考・判断・表現>

- ・ 法華経の精神に基づき、自身を見つめて人間としての生き方について思考・判断ができる。
- ・ 自らの考えを文章や口頭を通じて表現することができる。

<知識・理解>

[法華仏教コース]

- ・ 日蓮聖人の宗教思想と社会的実践についての知識を身につけている。

[日本仏教コース]

- ・ 日本仏教を基礎とした日本の思想・歴史・文化についての知識を身につけている。

<技能>

[法華仏教コース]

- ・ 法華仏教に関する資料を読みとることができる。

[日本仏教コース]

- ・ 日本仏教に関する資料を読みとることができる。

「仏教学科」

仏教学部仏教学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ 仏教に関する諸事象について、創意をもって学修することができる。
- ・ 文化・社会の課題に積極的に関与し、自主的に問題解決に向けて取り組むことができる。
- ・ 自らのあり方・生き方を正視し、向上させようと努力することができる。

<思考・判断・表現>

[思想・歴史コース]

- ・ 仏教的なものの見方ができる。
- ・ 歴史的なものの見方ができる。
- ・ 文化・芸術を理解することができる。

[文化・芸術コース]

- ・ 世界の多様な文化を理解することができる。
- ・ 芸術を理解し表現することができる。
- ・ 仏教的・歴史的なものの見方ができる。

<知識・理解>

- ・ 仏教を文化・社会・自然と関係付けて理解する幅広い教養を身につけている。

[思想・歴史コース]

- ・ 思想・歴史を中心とする仏教学の基礎的専門知識を身につけている。

[文化・芸術コース]

・文化・芸術を中心とする仏教学の基礎的専門知識を身につけている。

<技能>

[思想・歴史コース]

・仏教に関する資料を読みとることができる。

[文化・芸術コース]

・仏教に関する資料を読みとることができる。

・仏教文化・芸術に関する資料を読みとることができる。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

仏教学部は、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・学修意欲を喚起するために、授業内容を多様化します。
- ・思考・判断・表現の能力を養うため、多様な授業形態を展開します。
- ・多様な視点に基づく科目を体系的に配置します。
- ・アクティブラーニングを念頭においた演習系科目を段階的に配置します。

「宗学科」

仏教学部宗学科は、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・人間の生き方と現代社会の諸問題、歴史的な探求とその解明方法、精神文化の諸相と宗教的価値観などについて広く深く学修し、コミュニケーション能力を高めて他者理解をはかり、社会的諸課題を解決する能力を養成し、宗学を総合的に体得することができるように編成します。
- ・社会的視点を養成するため現地を見学する科目を設置します。
- ・実践的な知識を学ぶための科目を設置します。
- ・少人数でのコミュニケーションワークを取り入れた科目を設置します。
- ・理解力、分析力、問題解決能力、発表能力を養成するために、ゼミナールおよび卒業論文を必修科目として設置します。
- ・古文・漢文の基礎を復習し、法華仏教・日本仏教の基礎的な科目から発展的科目へと段階的に配置します。

[法華仏教コース]

・日蓮聖人の生涯と思想、日蓮教団の思想と歴史の展開、法華経の思想と文化などを学修する科目を基礎的な科目から発展的科目へと理解が深まるよう段階的に配置します。

[日本仏教コース]

・日本仏教全般の思想・歴史や美術・文化の様相を体系的に学修する科目を配置します。

「仏教学科」

仏教学部仏教学科は、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・知的関心を掘り起こすものとしての多様な領域にわたる講義科目を設置します。
- ・知的関心から体験的に学修するものとしての実習・研修系科目を設置します。
- ・学生の学的関心や考えを表明し、意見交換を行う場としてのゼミ系科目を設置します。
- ・社会的視点を養成するため現地を見学する科目を設置します。
- ・思考力・判断力・表現力を養うため、講義・演習・実習・ゼミ等、多様な形態の科目を適切に配置します。
- ・基礎・演習系、言語・スキル系、基礎・基幹系、言語系、思想・思想史系、各宗派教学・教団史系、文化史・文化財系、芸術実習系、宗教学系、現代宗教系、伝統文化系、日蓮教学系、他学部開講科目といった分類に基づく体系性を有するカリキュラムを編成します。
- ・仏教学基礎演習、ゼミナール等の演習系科目を段階的に配置し、アクティブラーニングを念頭においた授業を展開します。

入学者受入れの方針 (AP)

仏教学部では、学部教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・仏教の教え、仏教史、仏教文化・芸術などに深い関心をもっている者。
- ・正義を尊ぶ高い倫理観を持ち、仏教を通じて自己形成と社会貢献を志している者。
- ・学問に対する向上的意志を有している者。

なお、仏教学部では、仏教学科(思想・歴史コース/文化・芸術コース)・宗学科(法華仏教コース/日本仏教コース)の入学者を学部として一律に選抜する方式をとっています。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・仏教を中心とした思想・歴史・文化、法華経・日蓮聖人について学修する意欲を有している者。
- ・仏教の教えに立脚して識見を深め、慈悲の心を実践し、広く社会に貢献する意欲を有している者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働できる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・現代日本語の表現力を身につけている者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現できる者。

<知識・技能>

- ・現代日本語、古文、漢文の読解力を身につけている者。
- ・日本および世界の歴史と生活・文化の地域的な特色に関して理解している者。

—高等学校等で修得すべき具体的内容—

国語

- ・現代日本語、古文、漢文の読解力・表現力などの基礎力

地理歴史

- ・日本および世界の歴史と生活・文化の地域的な特色に対する理解

公民

- ・社会を主体的に考察し人間としての生き方を学び、人間と社会に関わる事からについて理解する能力

外国語

- ・英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングについての基本的能力、国際的な視野

芸術

- ・美術、工芸、書道などの芸術を鑑賞し理解する感受性と創造力

<文学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

文学部は、各学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・「モラリスト×エキスパート」として、自らの行動が社会に及ぼす影響を考えることができる。
- ・人間と社会の関わりについて関心をもっている。
- ・自国や他国の文化を支え、理解しようとする姿勢を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・論理的・批判的な思考力を身につけている。
- ・物事を多面的に分析・判断する能力を身につけている。
- ・専門領域を超えて横断的に現代の人間や社会が抱える課題を考察することができる。

<知識・理解>

- ・各学科・コースの専門分野に関する専門的知識を身につけている。
- ・専門性にとらわれない幅広い教養を身につけている。
- ・異文化を深く理解する能力を身につけている。

<技能>

- ・グローバル時代に対応出来る英語力を身につけている。
- ・他者とコミュニケーションする能力を身につけている。
- ・自ら課題を発見・解決する能力を身につけている。

「哲学科」

文学部哲学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・これまでに論じられてきた哲学的な問題に関心をもっている。
- ・現代社会が直面している哲学的な問題に関心をもっている。
- ・日常において自明視されていることを疑問視しようとする態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・自分の意見およびその根拠を他者にわかりやすく説明できる。
- ・他者の意見及びその根拠を批判的に検討できる。
- ・哲学的思考を、現代社会が直面している問題の解決に応用できる。

<知識・理解>

- ・哲学史に関する専門的知識を身につけている。
- ・周辺諸領域に関する幅広い教養を身につけている。

<技能>

- ・テキストを読解する力を身につけている。
- ・他者と対話する能力を身につけている。
- ・自ら課題を発見・解決する能力を身につけている。

「史学科」

文学部史学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・幅広い教養を身につけるとともに、歴史的な問題に関心をもっている。
- ・他分野との高いコミュニケーション能力を備えている。
- ・身につけた専門の知識・能力を積極的に社会還元する態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・史実を再構成する論理的思考能力を身につけている。
- ・さまざま史資料を駆使して、多面的に分析・判断する能力を身につけている。
- ・専門領域を超えて横断的に過去から現在にいたるまでの歴史的な問題について、総合的に考察できる。

<知識・理解>

- ・これまでの歴史学の研究成果を理解して、専門的な知識を身につけている。
- ・歴史学に関わる他分野に関する幅広い教養を身につけている。

<技能>

- ・史資料を解釈・分析する能力を身につけている。
- ・自身の問題関心や研究成果について、他者に対して説明する能力を身につけている。
- ・自らの課題に関する可能な限り多くの史資料を見付け出す能力を身につけている。

「社会学科」

文学部社会学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・現代社会の構造を明らかにしたいという関心と意欲をもっている。
- ・現代の社会問題への関心を持ち、その解明や解決への意欲をもっている。
- ・異質な文化や他者への関心やコミュニケーションの意欲をもっている。

<思考・判断・表現>

- ・自分の意見やその根拠を他者にわかりやすく説明できる。
- ・他者の意見の理解に基づくコミュニケーション能力を身につけている。
- ・社会的知識に基づく社会的な想像力をもっている。

<知識・理解>

- ・基礎、専門を含めた社会的知識を習得している。
- ・社会調査に関する基礎、専門を含めた知識を習得している。

<技能>

- ・テキストの解読や他者とのコミュニケーション・スキルを獲得している。
- ・社会調査の知識に基づく技法を習得している。
- ・卒論やレポートなど、論文を書く技法や能力を獲得している。

「文学科（日本語日本文学専攻コース）」

文学部文学科日本語日本文学専攻コースの課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・これまでに論じられてきた日本文学あるいは日本語の諸問題に関心をもっている。
- ・日本文学あるいは日本語の現在と未来におけるあり方に興味や関心をもっている。
- ・日本文学や日本語の知識に基づいて、適切な表現をつねに心がけている。

<思考・判断・表現>

- ・自分が直面している諸問題を認識し、思考しながら解決する力を身につけている。
- ・相手の意見およびその根拠を適切に判断できる。
- ・自分の意見およびその根拠を相手にわかりやすく説明できる。

<知識・理解>

- ・日本文学および日本語に関する専門的な知識を身につけている。
- ・周辺諸領域に関する幅広い知識を身につけている。

<技能>

- ・古典文学や近現代文学を読解する力を身につけている。
- ・他者と対話するのに必要かつ十分な日本語能力を身につけている。
- ・自ら課題を見つけ、それを解決することができる能力を身につけている。

「文学科（英語英米文学専攻コース）」

文学部文学科英語英米文学専攻コースの課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・国際社会で活躍するための英語コミュニケーション能力を高めようという意欲をもっている。
- ・英米文学、英語学、英語圏の文化に興味と関心をもっている。
- ・自らの文化と他者の文化に対する理解を深めようという意欲をもっている。

<思考・判断・表現>

- ・自分の意見およびその根拠を他者にわかりやすく説明できる。
- ・他者の意見およびその根拠を批判的に検討できる。
- ・グローバルな視野に立って社会・文化について考察し、複眼的に物事をとらえて判断できる。

<知識・理解>

- ・英語コミュニケーション能力の基盤となる、英語についての基礎的・発展的知識を身につけている。
- ・英米文学、英語学、英語圏の文化に関する専門的知識を身につけている。

<技能>

- ・現代の国際社会で役立つような英語力とコミュニケーション能力を身につけている。
- ・英語テキストを的確に読解する力を身につけている。
- ・自ら課題を発見・解決する能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（CP）

文学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・人間と社会の関わり、自らの文化や異文化を深く理解する能力を養成するために、教養科目・共通専門科目を設置します。
- ・社会人としての常識やモラルを養成するために、文学部独自の基礎科目を設置します。
- ・専門的知識を身につけるために、学科専門科目を設置します。
- ・専門にとらわれない幅広い教養を身につけるために、共通専門科目を設置します。
- ・グローバル時代に対応出来る英語力の養成のために、「基礎英語」「実践英語」を設置します。
- ・コミュニケーション能力の養成のために、演習科目を設置します。

- ・課題発見・解決能力の養成のために、卒業論文科目を設置します。

「哲学科」

文学部哲学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・哲学史に関する専門的な知識や過去の哲学的問題に対する関心、自明視されていることを疑問視しようとする態度を身につけるために、各年代の哲学史に関する科目を設置します。
- ・周辺諸領域に関する幅広い教養や現代社会の問題に対する関心、自明視されていることを疑問視しようとする態度を身につけるために、周辺諸領域との接点を重視した科目を設置します。
- ・自他の意見およびその根拠の妥当性を評価する能力や対話能力、課題発見能力を身につけるため、基礎演習、哲学演習、上級演習を設置します。
- ・テキストの読解力を養うため原典講読科目を設置します。

「史学科」

文学部史学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・歴史的な問題に対する関心やこれまでの研究に対して疑問視する姿勢、専門的な歴史の知識を身につけるために、各年代、地域における歴史に関する科目を設置します。
- ・歴史的な問題に対する関心や周辺諸領域の教養を身につけるために、周辺諸領域との接点を重視した科目を設置します。
- ・自他の意見およびその根拠の妥当性を評価する能力や対話能力、課題発見能力を身につけるため、演習科目を基礎演習から段階的に設置します。
- ・史資料読解能力を身につけるために、各分野の研究入門科目、史料講読科目を設置します。

「社会学科」

文学部社会学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・社会学の基礎、専門知識を習得し、それを現代社会の理解に結びつける社会学的想像力を育成する科目を体系的に編成します。
- ・社会学への関心や姿勢を身につけ、プレゼンテーションするための基礎的な講義科目を設置します。
- ・社会問題への関心を育成し、専門的な思考に導くための基礎、専門の演習科目を設置します。
- ・社会調査を実践するために必要な知識・技能を身につけるための実習関連科目を体系的に設置します。

「文学科（日本語日本文学専攻コース）」

文学部文学科日本語日本文学専攻コースは、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・古代から現代に至る日本文学と日本語に関する諸問題にふれるとともに、それぞれの時代の表現を理解し、それを現代と未来に生かそうとする意欲や態度を養うために、各時代、各分野の日本文学と日本語に関する科目を体系的に編成します。
- ・さまざまな文学やことばに対して積極的に関心を持つようとする意欲や態度および広い知識を身につけるために、周辺領域との接点を重視した科目を設置します。
- ・思考力や判断力を養成するために、演習科目を基礎演習から段階的に配置します。
- ・表現力や思考力を養成するために、詩や短歌・俳句の創作を行う科目を設置します。
- ・日本文学・日本語に関する通史的な知識を身につけるために、各時代の文学史・日本語史に関する科目を設置します。
- ・日本列島における人や時代を広く理解するために、各時代の文学作品に関する講読と特殊講義を設置します。
- ・日本文学・日本語の読解力・理解力を身につけるために、古典文学や近代文学に関する講読科目を設置します。
- ・専門的な知識を習得する上で必要な基礎能力（技能・方法）を身につけるために、ビブリオグラフィ・リーディングなどの基礎的演習科目を設置します。
- ・課題発見とそれを解決する能力を身につけるために、3・4年生一貫的な演習科目を設置します。

「文学科（英語英米文学専攻コース）」

文学部文学科英語英米文学専攻コースは、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・国際化の時代に対応できる実践的な英語コミュニケーション能力の涵養を図るための科目を設置します。
- ・英文学、米文学、英語学に関する科目を体系的・段階的に編成します。
- ・英語圏の多様な言語研究および文化研究に関する科目を併設し、幅広い学びを可能にするように配慮した科目を配置します。
- ・英語の4技能の力、英語コミュニケーション能力を養成するため、段階的に科目を編成します。
- ・英米文学、英語学、英語圏の文化について、学生が自らの関心に沿って学習できるような柔軟性のあるカリキュラムを編成します。

文学部では、学部教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・各学科の専門とする諸領域について幅広い興味と関心を持ち、その問題解決のために、積極的に学ぼうとする意欲をもっている者。

「哲学科」

文学部哲学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・哲学の諸領域について幅広い興味と関心を持ち、積極的に学び探求しようとする意欲をもっている者。
- ・自ら問題を発見し、考え、他人と積極的にコミュニケーションを図る意欲をもっている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・他者と対話しようとする姿勢を身につけている者。
- ・哲学に対して関心や意欲をもっている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働することができる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・論理的思考力を身につけている者。
- ・問題を発見する能力を身につけている者。
- ・自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現することができる者。

<知識・技能>

- ・高校で開講されている科目に対する基礎的な知識や理解力を身につけている者。
- ・日本語および外国語の読解力および文章力を身につけている者。
- ・専門分野の学習に耐えうる基礎的な知識を身につけている者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

外国語

- ・哲学・思想的な伝統を踏まえた、英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングについての基本的能力

国語

- ・明治以来の日本の哲学者、たとえば西田幾多郎、和辻哲郎などの著作のうち岩波文庫などに収録されているものに目を通すなどして、西洋哲学を受容する学問的な努力の跡に関する基本的知識、文章を論理的に読み解く能力

地理歴史

- ・歴史や社会の出来事の根底に哲学思想の展開が含まれていることを理解する能力、社会全体を広い視野で捉える能力、そのための基本的知識

数学・理科

- ・近代自然科学の形成過程において、数学における微積分学の形成とその力学・天文学における応用が決定的な重要性をもっていたことを踏まえた広い基本的な知識と、科学的に分析する能力

「史学科」

文学部史学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・歴史が好きだけでなく、過去を知るために自ら足を使って史料を探し、遺跡を歩き、自らの目で歴史を捉え考えることができる者。
- ・様々な異なる過去の捉え方を比較し、史料から独自の考え方を探り出す意欲をもっている者。
- ・自らの調べたいことを読書を通じて導き出す意欲をもっている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・他者と対話しようとする姿勢を身につけている者。
- ・歴史学に対して関心や意欲をもっている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働することができる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・論理的思考能力を身につけている者。
- ・問題を発見する能力を身につけている者。
- ・自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現することができる者。

<知識・技能>

- ・高校で開講されている科目に対する基礎的な知識や理解力を身につけている者。
- ・日本語および外国語の読解力および文章力を身につけている者。
- ・専門分野の学習に耐えうる基礎的な知識を身につけている者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・現代文、古文、漢文の内容を的確に理解しうる読解力と論理的思考力、ならびに自己の考えを明確に伝えられる表現力、文章力、コミュニケーション能力

地理歴史・公民

- ・特定の時代、地域、テーマに偏らない基礎的知識と幅広い洞察力を身に付け、日本を含む諸外国の歴史や地理、社会、思想、文化などを多面的・多角的に捉えることのできる能力

外国語

- ・文章の内容を正確に理解し、自己の考えを正しく表現できる外国語の運用能力（具体的には、英語などのリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングについて基本的能力）

「社会学科」

文学部社会学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・人と人との相互行為、社会関係、社会的ネットワーク、社会制度や社会のしくみ、社会問題、グローバルな地域関係や国際関係、文化やエスニシティなどに興味・関心をもっている者。
- ・高等学校卒業程度の広い基礎的な知識と理解力を前提として、より深く専門的に現代社会のダイナミックな動きと多様な社会問題の発生のメカニズムについて学ぶ意欲を持ち、講義等を受動的に聴講するだけでなく主体的に自分の頭で考え行動する姿勢を身につけている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・他者とコミュニケーションをする姿勢や能力をもっている者。
- ・現代社会に関心をもち、それを解明しようとする主体性をもっている者。
- ・異なる文化や他者に感心をもち、理解しようとする姿勢や能力をもっている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働することができる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・論理的思考力を身につけている者。
- ・現代社会の問題を発見、解明する能力を身につけている者。
- ・自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現することができる者。

<知識・技能>

- ・高校で開講されている科目に対する基礎的な知識や理解力を身につけている者。
- ・日本語や外国語の読解力、文章力を身につけている者。
- ・社会学の専門分野の学習に耐えうる基礎的な知識を身につけている者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・社会学を学ぶために必要な現代社会についての基礎的な知識を習得するための文章読解力。自分の考えを明確に説明し、また、他者とのコミュニケーションを取るための表現力

地理歴史・公民

- ・現代社会についての興味やそれを展開するために必要な基礎的な知識。現代社会の歴史的な成り立ちを理解するために必要な歴史的知識

外国語

- ・社会学に関する外国語（英語）の文献や、現代社会のあり方を知る上で重要な外国語（英語）の新聞やニュースなどを理解するために必要な外国語（英語）のリーディング、リスニングについての基礎的能力。ならびに獲得した知識を発信するために必要な外国語（英語）のライティング、スピーキングについての基礎的能力

数学

- ・基礎的な数学

「文学科（日本語日本文学専攻コース）」

文学部文学科日本語日本文学専攻コースでは、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・文学作品や文化事象に深い興味を抱いている者、ことばに対して強い好奇心を持っている者、外国の文学・文化と日本との比較に強い興味を抱いている者、または歴史や社会を背景とした「人間」に対して深い興味をもっている者。
- ・国語・書道教員免許、図書館司書、学芸員などの諸資格の取得や、小説を書きたいなど、明確に入学目的をもっている者。
- ・本コースで学んだ力で社会に貢献していく意欲をもっている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・日本文学や日本語に対して強い関心や意欲をもっている者。
- ・教員や図書館司書・学芸員などの目指す将来像をはっきりともっている者。
- ・周辺諸領域に対する広い関心をもっている者。
- ・自分の考えを、的確に相手に伝えることができる表現力を身につけている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働することができる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・論理的にものごとを考えようとする力を身につけている者。
- ・課題を発見し、それについて考えようとする力をもっている者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現することができる者。

<知識・技能>

- ・高校で開講されている科目に対する基礎的な知識や理解力を身につけている者。
- ・日本文学や日本語に対して、知識をもち、理解力に優れている者。
- ・文学作品を人よりたくさん読んでいと自負している者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・高等学校3年間で使用した国語教科書の中に収められている古典・近代文学作品をすべて読みかえし、その中でもっとも興味を抱いた一作品ないし作家の作品を図書館か書店で入手し、全文を読んでみるというような意欲と探究心、知識

地理歴史・公民、芸術

- ・歌舞伎や文楽などの古典芸能、アイヌや沖縄・琉球、東アジアのこばや文化、書画や演劇・音楽などさまざまな表現が存在することを理解し、それらのうちの一つを劇場・美術館・博物館、DVD・インターネットなどを通して体験してみるというような好奇心、広い知識

外国語

- ・高等学校までに学習した外国語(英語など)の基本的な運用能力(読む、書く、聞く、話す能力)。

「文学科(英語英米文学専攻コース)」

文学部文学科英語英米文学専攻コースでは、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・英語コミュニケーションや英米文学、英語学、英語圏の文化に興味と関心を持ち、それらを幅広く学ぶ意欲をもっている者。
- ・国際社会で活躍するための英語コミュニケーション能力、異文化に対する理解、広い視野の獲得を目指している者。
- ・明確な目的意識を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲をもっている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・英語によるコミュニケーションを積極的に行う姿勢を身につけている者。
- ・英米文学、英語学、英語圏の文化に対して関心をもっている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働することができる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・論理的思考力を身につけている者。
- ・問題を発見する能力を身につけている者。
- ・自分の意見を他者にわかりやすく説明することができる者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現することができる者。

<知識・技能>

- ・高校で開講されている科目についての基礎的な知識や理解力を身につけている者。
- ・日本語および外国語(特に英語)の読解力および文章力を身につけている者。
- ・専門分野の学修に耐えうる基礎的な知識を身につけている者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

外国語

- ・中学校や高等学校等で使用した英語教科書の内容を適切に理解できるだけの基礎的な英語の語彙力と英文法の知識、英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングについての基本的な能力、英米の文学と文化に関する知識

国語

- ・中学校や高等学校等で使用した国語教科書の内容を適切に理解できるだけの日本語の読解力と論理的思考力、ならびに自身の考えを他者に対して適切に伝えられる表現力・文章力・コミュニケーション能力

地理歴史

- ・中学校や高等学校等で使用した各教科の教科書の内容にもとづいた、日本および英米をはじめとした諸外国の歴史や地理、社会、思想、文化についての知識

<経済学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

経済学部経済学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・社会と経済の問題に高い関心を持ち、協働性を持って社会人としてふさわしい主体的な行動ができる。

<思考・判断・表現>

- ・修得した知識に基づいて社会の課題について思考し、政策や制度の影響を判断することができる。
- ・自分が直面する問題の解決に向けて、自らの思考結果を適切に表現することができる。

<知識・理解>

- ・経済活動の仕組みや市場の役割を歴史的な背景を含めて理解している。
- ・社会動向を理解するために必要な豊かな教養を身につけている。

<技能>

- ・現代社会で働くために必要な情報処理能力を身につけている。
- ・豊かな社会生活をおくるために必要な外国語を含むコミュニケーション能力を身につけている。
- ・現代社会で働くために必要な数理的思考力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

経済学部経済学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・経済学に対する興味関心を持ちやすいように、導入的科目として必修科目を設置します。
- ・自らの関心に基づく主体的な勉学が可能になるように専門選択必修科目と専門選択科目を設置します。
- ・段階的な知識の修得を可能とするために、1年次の専門必修科目、2年次以降の専門選択必修科目を設置します。
- ・多様な関心に対応するために、教養選択必修科目と教養選択科目を設置します。
- ・現代社会における必要な技能が十分身につくように、語学科目、情報科目、数学・統計科目を設置します。

入学者受入れの方針 (AP)

経済学部経済学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・経済学の専門的知識の習得に必要な基礎学力を有している者。
- ・経済および経済学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。
- ・広い視野と深い専門的学識を身につけ、変化する社会の課題を把握して積極的に関与する意欲をもっている者。

・学力の三要素に即した求める人物像・

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・広い視野と専門的学識を身につけ、変化し多様化する社会の課題を把握して、協働性を持って社会に貢献する意欲をもっている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・経済および経済学に対する強い知的関心と学習意欲を持ち、自分の考えを他者に伝えることができる者。

<知識・技能>

- ・経済学の専門的知識・教養の習得に必要な基礎学力を有している者。

・高等学校等で修得すべき具体的内容・

国語

- ・新しい知識の修得のための読解力と自分の考えを的確に示す表現力

外国語

- ・英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングについての基本的能力

地理歴史・公民

- ・社会と経済の動きと仕組みを理解するための歴史や社会に関する基本的な知識

数学

- ・グラフや基礎的な数式を理解し、それを応用し、論理的な思考を展開する力

<経営学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

経営学部経営学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・現代産業社会を複合的かつ本質的に理解するための幅広い教養を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・現代産業社会の課題に対応できる「共創力」「課題解決能力」を身につけている。

<知識・理解>

- ・経営学諸領域に精通した「産業人」として活躍するための専門知識を身につけている。

<技能>

- ・企業を中心とする組織の運営とその課題の解決にあたる技能を身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

経営学部経営学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・幅広い視野の形成を促し、「心豊かな産業人」育成のために、経営学の基盤となる社会科学系の諸科目に加え、現代的なテーマに対応した教養的科目を設置します。
- ・現代産業社会の課題に対応できる「共創力」「課題解決能力」を養うために、相互交流をベースとした科目、ゼミナール、論文作成科目を段階的に設置します。
- ・経営学領域の諸理論について、バランスのとれた学修ができるよう、戦略経営・マーケティング・会計学・情報システム学の4系列の専門科目群を編成します。
- ・組織の運営とその課題の解決を可能とする技能を養うために、情報処理・語学関連の科目を必修とし、より上級な学修のための科目を設置します。

入学者受入れの方針 (AP)

経営学部経営学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・大学卒業後の目指すべき進路を明確に定めている者。
- ・高等学校卒業レベルの言語能力と社会科科目の基礎知識を有し、それらを発展させ、能動的にテーマを設定し勉学に取り組む意欲をもっている者。

・学力の三要素に即した求める人物像・

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・社会に深く関心をよせ、自身の知識・能力を発展させて能動的にテーマを設定し、勉学に取り組む意欲をもっている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、協働して課題解決・目標達成することの意義を理解し、コミュニケーションを通じて他を理解する態度を身につけている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・知識や技能に基づき、筋道を立てて深く考え、判断を導くことができる者。
- ・高等学校卒業レベルの言語能力を有し、自身の考えを言葉や文章で適切に表現し、伝えることができる者。
- ・大学卒業後の進路を明確に定め、そのための目標設定と能力の獲得にまい進できる者。

<知識・技能>

- ・高等学校の主要教科（国語・外国語（英語））について内容を理解し、高等学校卒業相当の知識・教養を身につけている者。

・高等学校等で修得すべき具体的内容・

国語

- ・専門書や資料などを理解するための読解力、自分自身の意見をレポートや論文としてまとめるための文章力

外国語

- ・英語の論文や資料などを理解するための語学力、自分自身の考えを英語で表現する力、グローバルな環境でのコミュニケーション能力

地理歴史・公民

- ・社会の動きやしぐみを理解する上で重要となる、歴史や社会に関する基本的知識

<法学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

法学部法学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・社会に存在する諸課題を多角的に分析しようとする態度を身につけている。
- ・法に関する知識ならびに技能を用いて諸課題を解決に導こうとする志向性をもっている。
- ・人権感覚、公と私の区別、権限・責任の自覚をもっている。

<思考・判断・表現>

- ・社会に存在する諸課題を多角的に分析できる能力を身につけている。
- ・異なる意見を整理し、コンセンサスを得るための調整能力を身につけている。

<知識・理解>

- ・法に関する以下の基礎的知識を修得している。
 - a. 日本国憲法を中心とする国家規範の構造
 - b. 制定法の理解と、その基礎にある様々な価値観や法原理
 - c. 法を運用する様々な職業・機関

<技能>

- ・法を適切に解釈適用する技能を修得している。
- ・公正衡平な解決を導きうる技能を修得している。
- ・調整能力、弁論能力、交渉力、組織マネジメント能力、危機管理能力等を身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

法学部法学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・幅広い教養を修得するために一般教養科目および特定教養科目を設置します。
- ・問題意識、調査能力および分析力を涵養するために法学基礎演習科目を設置します。
- ・卒業後のキャリアを意識したコース制を採用し、カリキュラムを編成します。
- ・専門知識を修得するために、講義・演習科目を設置します。
- ・専門キャリア意識を涵養するために、基礎教養教育を実施します。
- ・「考える力(様々な社会問題と向き合い、その解決を見いだす能力)」を修得するために、演習やゼミナールを設置し、少人数教育を実践します。

入学者受入れの方針 (AP)

法学部法学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・法律、政治、社会問題に広い関心を持ち、基礎的学力を有している者。
- ・「考える力」および「生き抜く力」を養い、将来実社会で活かしたいという意欲をもっている者。
- ・学習のみならず物事に意欲的、かつ継続的に取り組む姿勢を身につけている者。

・学力の三要素に即した求める人物像

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・「考える力」および「生き抜く力」を養い、将来実社会で活かしたいという意欲をもっている者。
- ・学習のみならず物事に意欲的、かつ継続的に取り組む姿勢を身につけている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働できる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・法律、政治、社会問題に対する関心をもっている者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現できる者。

<知識・技能>

- ・地歴・公民の基礎的知識、および国語・英文等の読解力を身につけている者。

・高等学校等で修得すべき具体的内容

国語

- ・現代文などの読解力

公民

- ・政治経済などの基本的知識

地理歴史

- ・時代背景や社会環境などの基本的知識

外国語

- ・外国語の基礎的読解力、英語リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングについての基本的能力

<社会福祉学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

社会福祉学部は、各学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・福祉社会の実現の形成に参加できる。
- ・真摯な研究姿勢を身につけている。
- ・現実の人間の具体的な課題を体現している。

<思考・判断・表現>

- ・福祉社会の実現に貢献できる課題分析能力を身につけている。
- ・共感と協働のためのコミュニケーション能力を身につけている。
- ・独自の視点を身につけている。
- ・課題解決のための理論と実践を融合する力を身につけている。

<知識・理解>

- ・社会福祉学部・各学科の理念・目的を習得している。
- ・専門領域における知識を習得している。

<技能>

- ・個別支援のための実践力を身につけている。
- ・コミュニティづくりのための組織力を身につけている。
- ・専門領域における技能を習得している。
- ・幅広い分野の職場体験を通じた実践力を身につけている。
- ・研究力を身につけている。

「社会福祉学科」

社会福祉学部社会福祉学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・社会福祉に関する幅広い関心と意欲を持ち、社会に貢献できる。
- ・自らのあり方をみつめ、常に向上するために努力する態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・社会福祉に関する幅広い知識に基づき、多様な視点から論理的な思考と倫理的な判断ができる。
- ・自らの考えを文章や口頭を通して表現することができる。

<知識・理解>

[ソーシャルワークコース]

- ・ソーシャルワークの基本的な価値・知識・技術と、地域を主体にした包括的な視点を身につけている。

[教育福祉・社会デザインコースの教育福祉]

- ・特別支援教育を中心に、福祉と教育を連携させる視点を身につけている。

[教育福祉・社会デザインコースの社会デザイン]

- ・福祉関連企業・NPO・行政など福祉社会の各フィールドにおいて生かす、福祉の知識・構想力を身につけている。

<技能>

[ソーシャルワークコース]

- ・必要に応じた福祉支援ができるマネジメント技術を習得している。

[教育福祉・社会デザインコースの教育福祉]

- ・特別支援教育を中心に、福祉と教育を連携させる技術を習得している。

[教育福祉・社会デザインコースの社会デザイン]

- ・福祉関連企業・NPO・行政など福祉社会の各フィールドにおいて生かす、総合的な技術を修得している。

「子ども教育福祉学科」

社会福祉学部子ども教育福祉学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・教育学・福祉学・心理学に深い関心を持ち、子どもに関わる問題を探求していく力を身につけている。
- ・生涯にわたり子どもの教育・福祉について学び続けようとする自己学習力を身につけている。
- ・積極的に社会の教育・福祉に参加しようとする意欲と責任感を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・教育学・福祉学・心理学の問題を体系的に認識・理解する能力を身につけている。
- ・教育学・福祉学・心理学の子どもの問題に明晰な分析を加える能力を身につけている。
- ・保育・教育における実践において、自らの思いを適切に伝え、表現する力を身につけている。

<知識・理解>

- ・教育学・福祉学・心理学の基礎的専門知識を身につけている。
- ・教育学・福祉学を社会・文化・自然と関係づけて理解する幅広い教養を身につけている。

<技能>

- ・子どもの成長・発達に支援ができる実践的スキルを習得している。
- ・子どもの成長・発達基盤である家族・地域を支援する実践力を身につけている。
- ・子ども・家族・地域とのコミュニケーション能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

社会福祉学部は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・大学での学修にスムーズに入ることができるよう、基礎領域群を編成します。
- ・深い教養を習得することができるよう、教養的科目群を編成します。
- ・福祉・保育・教育に関する専門的理論を学ぶことができるよう、理論領域群を編成します。
- ・福祉・保育・教育に関する技術や実践的な姿勢が習得できるよう、技能・実践領域群を編成します。
- ・福祉・保育・教育などについて広い視野で理解し分析する力が習得できるよう、関連領域群を編成します。
- ・幅広い視点を養うために多様な自由科目を設置します。
- ・国際感覚を習得するための専門的科目を設置します。
- ・研究能力を習得するために演習・卒業論文・卒業研究科目を設置します。

「社会福祉学科」

社会福祉学部社会福祉学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・3つの履修モデルを想定した教育課程を編成します。
 1. 社会福祉及び精神保健福祉士の養成モデル
 2. 特別支援学校教諭の養成モデル
 3. 誰もが個性豊かな市民のボランタリーな活動に携わり、共に支えあい協働するグローバルな市民社会の担い手となるためのモデル
- ・4年次の「社会福祉専門演習」と「卒業論文」を学びの集大成とする段階的なカリキュラムを編成します。

「子ども教育福祉学科」

社会福祉学部子ども教育福祉学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・4つの領域および演習・卒業論文、自由科目の学びをとおして、教育学・福祉学・心理学が構築してきた学問性を総合的に身につけ実践力を養成するカリキュラムを編成します。
- ・1～2年次では導入教育を基礎としながら、各領域の基礎を学ぶとともに、教育・福祉・心理に関連する科目を設置します。
- ・3年次では、各領域の専門を学ぶとともに諸問題に対する専門性を身につけるための科目、4年次にはこれらの成果をまとめる卒業論文科目を設置します。
- ・4年間を通した少人数のゼミと領域別専門教育によって、子ども教育福祉の総合的な研究・実践力を備えた資質を獲得するカリキュラムを編成します。

入学者受入れの方針 (AP)

社会福祉学部では、学部の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・高等学校卒業程度の基礎的な学力を身につけている者。
- ・これまでに取り組んできた活動が、学部が求める学生像に合致しており、専門科目を学ぶ意欲や専門職への志望が強く、人間性および適性に優れている者。

「社会福祉学科」

社会福祉学部社会福祉学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・社会福祉士・精神保健福祉士として将来的に社会福祉の対人援助の現場で活躍しようとする意欲をもっている者。
- ・コミュニケーション能力と他者理解の能力に優れ、特別支援学校教諭免許状を取得し障害児教育に携わる意欲をもっている者。
- ・「福祉社会」の各種フィールドで構想力を発揮し、福祉コミュニティの形成に貢献する意欲をもっている者。

・学力の三要素に即した求める人物像

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・多様性を尊重しながら、自ら働きかけ協働できる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・社会で生じている問題について思考し、自分なりの判断ができる者。
- ・自らの考えを何らかの手段で表現することができる者。

<知識・技能>

- ・人間と社会の仕組みに関する基本的知識を学んできた者。
- ・コミュニケーション能力と他者理解の能力を有している者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・読解力・思考力・表現力、自分の考えを的確に表現する力

英語

- ・基礎的な読解力とコミュニケーション能力

地理歴史・公民

- ・地歴公民や社会の仕組みに関する基本的な知識

数学

- ・基礎的な計算や論理的な思考力・統計的理解力

「子ども教育福祉学科」

社会福祉学部子ども教育福祉学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・人間および子どもの教育・福祉・心理をめぐる諸問題に関心を持ち、それらの問題を多角的、柔軟に思考することができる者。
- ・人間の尊厳、人権を尊重し、自ら積極的に課題解決に向かって努力し、論理的な思考とコミュニケーション能力を鍛え、共感を持って子ども支援に取り組む意欲をもっている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・コミュニケーション能力を鍛え、共感を持って子ども支援に取り組む意欲をもっている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働できる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・人間および子どもの教育・福祉・心理をめぐる諸問題に関心を持ち、多角的、柔軟に思考することができる者。
- ・人間の尊厳、人権を尊重し、課題解決に向かって努力し、論理的な思考ができる者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現できる者。

<知識・技能>

- ・本学科の授業の基礎となる高等学校の教科を習得している者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・思考力・表現力、自分の考えを的確に表現する力

保健体育・家庭・芸術

- ・教育・保育の場で必要とする発想力・技能の基礎

地理歴史・公民

- ・社会の仕組みや歴史に関する基本的な知識

数学

- ・基礎的な計算や論理的な思考力・統計的理解力

<地球環境科学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

地球環境科学部は、各学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・地球と地域の環境問題や社会的課題に高い関心を有している。
- ・地球と地域の環境問題や社会的課題の解決に意欲的に取り組む態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・地球と地域の環境問題や社会的課題を適切に捉え、その解決に必要な思考力、判断力を有している。
- ・自らが行った思考過程や判断基準を他者に分かるように表現できる。

<知識・理解>

- ・修得した専門領域の知識を環境問題や社会的課題の解決に役立てることができる。
- ・修得した専門知識を活用し、環境問題や社会的課題を正確に理解することができる。

<技能>

- ・修得した専門的技術や手法を、環境問題や社会的課題の解決に活用できる。
- ・ICT、思考力、判断力を駆使して、自らの考えを発表することができる。

「環境システム学科」

地球環境科学部環境システム学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・地球環境に関わる諸問題に、様々な立場の人たちと協働することができる。
- ・地球環境問題の解決に積極的に取り組む姿勢を有している。

<思考・判断・表現>

- ・得られたデータに基づき、他者が理解できるように事象を表現できる。
- ・問題解決に向けて考えて行動し、その結果を説明、発表する能力を備えている。

<知識・理解>

- ・環境をシステムとしてとらえ、科学的根拠に基づき持続可能な社会の形成に貢献できる。
- ・地球環境を構成する4圏（地圏・気圏・水圏・生物圏）をより深く理解している。

<技能>

- ・環境問題を解決するため、ICTを効果的に活用できる。
- ・フィールドワークを柱とする実践的かつ客観的な環境調査技術を修得している。

「地理学科」

地球環境科学部地理学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・地球と地域の社会および自然の諸問題を認識している。
- ・異文化の多様性を自ら学び認識する能力を備えている。
- ・地球や地域が抱える課題の解決に向けて主体的に行動しうる態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・地域の自然的・社会的メカニズムと諸問題を地理的・空間的視点から考えることができる。
- ・地球や地域が抱える課題を公正かつ確に判断することができる。

<知識・理解>

- ・地域の概念・原理に関する知識を身につけている。
- ・地域の自然的特性・人文的的特性に関する知識を身につけている。
- ・日本をはじめ、世界各地の知識を身につけている。

<技能>

- ・フィールドにおける地域調査の技能を身につけている。
- ・地域に関わるデータを統計的に処理し、表現できる技能を身につけている。
- ・地図、測量、GISなどから得られるデータを活用した空間分析の技能を身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

地球環境科学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・地球環境の成り立ちや地域社会の仕組みについて幅広く理解するための教養的科目と、それらを礎として問題解決のための専門知識を学ぶ学部共通科目を設置します。
- ・教養的科目や学部共通科目を基礎として、より高次の思考力、判断力、表現力の修得を重視した、専門分野を横断する専門科目を設置します。
- ・アクティブ・ラーニングや少人数クラス制度を取り入れ、学生自らが学ぶ積極性を養う充実した専門科目を設置します。
- ・地球環境や地域社会にある問題を正しく理解し、高度な知識を得るための専門科目を設置します。

- ・大学教育の集大成として、個別あるいは少人数グループによる卒業研究科目を設置します。
- ・地球環境問題や地域社会の課題解決に向けた技能を修得するため、フィールドワークや実験・実習科目、演習科目を配置します。
- ・ICTや思考力、表現力などの技能の集大成となる卒業研究を設置します。

「環境システム学科」

地球環境科学部環境システム学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・自らが積極的にフィールドに赴き、自然環境を身を以て体験する科目を配置します。
- ・地球を取り巻く様々な自然現象や環境問題について学ぶ学部共通、学科共通科目を配置します。
- ・教育効果を高めるために、少人数に分けた科目を配置します。

[生物・地球コース]

- ・生物・地球・情報に関する専門科目を設置します。
- ・生物・地球・情報に関する技能の向上をめざす科目を設置します。

[気象・水文コース]

- ・気象・水文・情報に関する専門科目を設置します。
- ・気象・水文・情報に関する技能の向上をめざす科目を設置します。

「地理学科」

地球環境科学部地理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・フィールドに出て地理的関心を高める科目を配置します。
- ・日本、世界の自然事象、人文事象について学ぶ地誌関係科目、共通科目の導入科目を初年次に配置します。
- ・地理学的・基礎的知識の上にならって考える力を身につけるために、地域的問題に関する科目を設置します。
- ・地域の基礎、地理学の基礎を学ぶ科目を初年次に配置します。
- ・地域の自然的特性と人文的特性を講義する専門的科目を配置します。
- ・地図、GISの活用に関する科目を学生の学習能力の発達にあわせて段階的に科目を配置します。
- ・フィールドにおける地域調査とその前段階にあたる資料調査・分析に関わる科目を学生の学習能力の発達にあわせて段階的に配置します。
- ・それぞれの科目でアクティブ・ラーニングを取り入れた教育を実施します。

入学者受入れの方針（AP）

地球環境科学部では、学部の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・地球と地域の環境問題の解決を目指して意欲を持って学修に取り組むことができる者。
- ・それぞれの分野における円滑な学習に必要な基礎的学力を備えた者、または大学において学部の教育目標を達成しうる資質を備えている者。

「環境システム学科」

地球環境科学部環境システム学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・高等学校等これまでの学習過程において、地球環境を構成する4圏（地圏・気圏・水圏・生物圏）について学習する科目である理科、情報処理に深く関連する科目である数学、国際的情報交換に欠かすことの出来ない外国語に関する高い能力・知識を有している者。
- ・高等学校等における学習履歴にかかわらず、自然環境問題や環境保全に関心を持ち、基礎学力の高い者。

・学力の三要素に即した求める人物像

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働できる者。

[生物・地球コース]

- ・生物分類技能検定や自然再生士のような生物・地球に関わる資格を取得する意欲をもっている者。
- ・生物・地球・情報に関心を持ちフィールドを得意としている者。

[気象・水文コース]

- ・気象予報士や環境計量士のような気象・水文に関わる資格を取得する意欲をもっている者。
- ・気象・水文・情報に関心を持ちフィールドを得意としている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・自然環境、環境保全に関心を持ち数理的手法等により解決法を身につけている者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現できる者。

<知識・技能>

[生物・地球コース]

- ・高等学校等において地球環境（生物圏、地圏）に係る理科、情報処理に係る数学、国際的情報のための英語に関する高い能力・知識を身につけている者。

[気象・水文コース]

- ・高等学校等において地球環境（気圏、水圏）に係る理科、情報処理に係る数学、国際的情報のための英語に関する高い能力・知識を身につけている者。

・高等学校等で修得すべき具体的内容

理科

- ・地球環境の実態と時間変動について理学的な思考で理解し、自分の考えを的確に示すのに必要な理科に関する基礎的知識

数学

- ・グラフや基礎的な数式を理解しそれを応用し論理的な思考を展開する力と、数理的素養に基づいた教育を行うために必要な数学の基礎的知識

外国語

- ・海外でのフィールドワークや短期留学制度のために必要な語学力の基礎的知識、および英語の文献・資料を読み理解する読解力

「地理学科」

地球環境科学部地理学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・高等学校等これまでの学習過程において、自然地理学や人文地理学の諸分野を基軸とした地理を含む社会科科目、基礎的科目である国語、国際化社会に対応するために必要な外国語に関する高い能力・知識を身につけている者。
- ・高等学校等における学習履歴にかかわらず、世界および日本における地域のさまざまな課題に対する解決能力や、地域の発展に貢献しうる資質をもっている者。

・学力の三要素に即した求める人物像

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・世界および日本における地域のさまざまな課題の解決に積極的に取り組む姿勢を身につけている者。
- ・世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働できる者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・地域と社会の諸問題や社会的課題に高い関心をもっている者。
- ・世界のさまざまな地域の文化や自然に高い関心をもっている者。
- ・自分の考えを的確に文章で表現するために必要な文章読解力と思考能力を身につけている者。
- ・得た知識・技能を基に自ら思考を深め、問題解決に向けて適切に判断し、自らの考えを表現できる者。

<知識・技能>

- ・高等学校課程における地理を含む地歴・公民科目に関する高い能力・知識を身につけている者。
- ・数理科学的素養を活かして地域の諸問題を解決するために必要な、関数や確率統計に関する基本的な考え方を身につけている者。
- ・世界および日本に関する地理学的な知識の蓄積に努力する意欲をもっている者。
- ・国際化社会に対応するために必要な外国語に関する高い能力・知識を身につけている者。
- ・地域の特性や歴史的展開、現代社会の動向などについて正しく理解し、地理学的な見方や考え方に基づいて地域調査を行うために必要な基本的知識を身につけている者。

・高等学校等で修得すべき具体的内容

国語

- ・自分の考えを的確に文章で表現するために必要な文章読解力と思考能力

外国語

- ・海外の文献や資料から地理に関する情報を得たり、海外フィールドワークや短期留学の機会において英語で意思疎通したりするために必要な、基礎的な英文法や語彙力

地理歴史

- ・地域の特性や歴史的展開などについて正しく理解し、地理学的な見方や考え方に基づいて地域調査を行うために必要な基本的な知識

公民

- ・現代社会の動向などについて正しく理解し、地理学的な見方や考え方に基づいて地域調査を行うために必要な基本的な知識

数学

- ・数理科学的素養を活かして地域の諸問題を解決するために必要な、関数や確率統計に関する基本的な考え方

<心理学部>

卒業認定・学位授与の方針 (DP)

心理学部は、各学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ 専門的知識と技能を活かして、社会に貢献していこうとする態度を身につけている。
- ・ 他者と協働して学習し、諸問題を協調的に解決しようとする態度を身につけている。
- ・ 国際化社会における多様な価値観を理解・受容する態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・ 心理学の専門的知識と技能を踏まえ、未解決の問題を発見し、その解決のために科学的に考える能力を身につけている。

<知識・理解>

- ・ 人間・社会の諸問題を解決に導くための臨床心理学または対人・社会心理学の専門的知識を身につけている。
- ・ 臨床心理学または対人・社会心理学の専門的知識を探究するための研究手法に関する知識を身につけている。
- ・ 各学科が掲げる教育目的を実現するための基盤となる幅広い教養と知識を身につけている。

<技能>

- ・ 人間・社会の諸問題を解決に導くための臨床心理学または対人・社会心理学に基づいた専門的スキルを身につけている。
- ・ 国際化社会において自らの考えを主体的に他者に伝えるコミュニケーション能力を身につけている。
- ・ 情報化社会に必須な情報技術に関する知識と情報機器の操作スキルを身につけている。

「臨床心理学科」

心理学部臨床心理学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ 臨床心理学に関わる専門的知識と技能を活かして、社会に貢献していこうとする態度を身につけている。
- ・ 臨床心理学の専門的知識と技能を活かし、心理臨床領域の諸問題を解決しようとする態度を身につけている。
- ・ 心理臨床領域の諸問題について、エビデンスに基づいて検証しようとする実証的態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・ 臨床心理学の専門的知識と技能を踏まえ、心理臨床領域で未解決の問題を発見し、その解決のために科学的に考える能力を身につけている。

<知識・理解>

- ・ 心理的援助を必要とする人を理解し、適切なケアを実践するための臨床心理学の専門的知識を身につけている。
- ・ 臨床心理学の専門的知識を探究するための研究方法に関する知識を身につけている。
- ・ 心理的援助を必要とする人を理解し、適切なケアを実践するために必要な幅広い知識を身につけている。

<技能>

- ・ 臨床心理学の専門的知識を探究するための研究方法を身につけている。
- ・ 心理的援助を必要とする人を理解するための専門的スキルを身につけている。
- ・ 心理的援助を必要とする人に対して適切なケアを実践するための臨床心理学の専門的スキルを身につけている。

「対人・社会心理学科」

心理学部対人・社会心理学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ 対人・社会心理学の専門的知識と技能を活かし、社会に貢献しようとする態度を身につけている。
- ・ 対人・社会心理学の専門的知識と技能を活かし、よりよい社会を構築していこうとする態度を身につけている。
- ・ 社会で生ずるさまざまな心理現象についてエビデンスに基づいて検証しようとする実証的態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・ 対人・社会心理学の専門的知識と技能を踏まえ、社会における未解決の問題を発見し、その解決のために科学的に考える能力を身につけている。

<知識・理解>

- ・ 変動する社会の諸問題を解決するために必要な対人・社会心理学の専門的知識を身につけている。
- ・ 対人・社会心理学の専門的知識を探究するための研究手法に関する知識を身につけている。
- ・ 変動する社会の諸問題を理解するために必要な幅広い知識を身につけている。

<技能>

- ・ 対人・社会心理学の専門的知識を探究するための研究手法を身につけている。
- ・ 日常的な対人関係を円滑に進めるために必要な実践的な対人スキルを身につけている。
- ・ 自分の考えを表現し、聞く人に対して理解を得るためのコミュニケーションスキルを身につけている。

教育課程編成・実施の方針 (CP)

心理学部では、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・ 初年次教育科目 (「基礎演習 I・II」、「学修の基礎」) の履修により、学ぶことへの意欲を高め、協働的学習態度を身につけます。

- ・教養的科目を設置し、心理学を学修する上で基盤となる教養的知識を身につけます。
- ・情報処理科目を履修することにより、情報化社会での活動の基礎となる情報処理技能を身につけます。
- ・キャリア教育科目の履修により、修得した知識・技能を社会に活かして社会に貢献していこうとする態度を身につけます。
- ・外国語科目ならびに異文化理解のための教養的・専門科目の履修により、国際化社会における多様な価値観を理解しようとする態度を身につけるとともに、外国語によるコミュニケーション技能を身につけます。
- ・専門科目教育では、講義、実験・実習、演習など様々な形式で、体系的に科目を設置し、各学科が目標に掲げる知識と技能を習得します。
- ・心理学の幅広い領域に関する科目を設置し、さまざまな心理現象の背景にある心の仕組みや現象を説明する心理学諸理論に関する知識を修得します。
- ・演習では専門的知識と技能の学修を深めながら、自ら問題を発見してその解決を図る思考と実践の機会を持ちます。
- ・卒業論文・卒業研究では、未解決の問題を発見し、研究を企画・実施し、解決のための考察を加えるという一連の過程を経験します。

「臨床心理学科」

心理学部臨床心理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、専門科目において、公認心理師となるために必要な科目を配置します。

- ・専門科目を体系的に学ぶためにカリキュラムを5領域で編成します。
- ・「心理学理論」、「臨床心理学・カウンセリング」の領域に関わる選択科目では、心理学の基礎的領域とともに臨床心理学の専門的知識を幅広く習得します。
- ・「アカデミックスキル」に関わる科目では、心理臨床領域における問題を発見し、科学的に解析する能力を養います。
- ・「心を理解する」の領域に関わる科目では、臨床心理学において他者を理解するための心理アセスメントに関する専門的知識と技能を習得します。
- ・「心に働きかける」の領域に関わる科目では、心理臨床領域における援助に関する専門的知識と技能を習得します。
- ・3年次必修科目の臨床心理学演習では、専門的知識と技能の学修を深めながら、自ら問題を発見してその解決を図る思考と実践の機会を持ちます。
- ・4年次必修の卒業論文・卒業研究では、自らの問題意識に基づき心理臨床領域における問題を発見し、研究を企画・実施し、解決のための考察を加えるという一連の過程を経験します。

「対人・社会心理学科」

心理学部対人・社会心理学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・学年進行に沿って、様々な社会事象を科学的に検討するために必要な調査・実験・メディア分析などの対人・社会心理学固有の研究スキルを「スキル系」科目や必修の「心理学統計法」「心理学実験」の中で体系的に学修します。
- ・低学年次では、対人・社会心理学概論を必修科目として学ぶとともに、心理学全般の領域を扱う選択科目Ⅱ（基礎・応用）を学修します。高学年次では選択科目Ⅱ（公認心理師）も学修できます。
- ・対人・社会心理学の下位分野としての「自己」「対人」「集団」「文化」の4領域にわたる選択科目Ⅰを学修します。
- ・日常的な対人関係やコミュニケーションを円滑に進めるために必要な「スキル系」実践的トレーニングを学修します。
- ・3年次必修科目の対人・社会心理学演習では、対人・社会心理の専門的知識と技能の学修を深めながら、自ら問題を発見してその解決を図る思考と実践の機会を持ちます。
- ・4年次必修の卒業論文・卒業研究では、自らの問題意識に基づき社会的事象における未解決の問題を発見し、研究を企画・実施し、解決のための考察を加えるという一連の過程を経験します。

入学受入れの方針（AP）

心理学部では、学部の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。
- ・心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。
- ・心理学の研究に必要な自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。
- ・心理学の専門的知識の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。
- ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。
- ・心理学の専門性を活かして社会に貢献したいという意欲をもっている者。

「臨床心理学科」

心理学部臨床心理学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・臨床心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。
- ・臨床心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。
- ・臨床心理学の研究に必要な自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。
- ・臨床心理学の専門的知識の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。
- ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。
- ・臨床心理学の専門性を活かして社会に貢献していこうとする意欲をもっている者。

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・臨床心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。
- ・臨床心理学の専門性を活かして社会に貢献したいという意欲をもっている者。
- ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・臨床心理学の専門的技術の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。
- ・臨床心理学の研究に必要となる自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。

<知識・技能>

- ・臨床心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・書籍や論文を理解するための読解力、および自分の意見を他者に伝えるための表現力

地理歴史・公民

- ・臨床心理学を人と社会の関わりの中で理解するための基礎的な知識、および歴史、文化に対する知的好奇心

外国語

- ・臨床心理学に関するより多くの知識を獲得するための基本的な英語力（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）、および獲得した知識を社会に還元するための国際的な視野

数学

- ・臨床心理学の研究手法、技法をより円滑に理解するための確率統計の基本的な考え方

理科

- ・生物としての人間の適応性を理解するための基本的なメカニズムに関する知識

情報

- ・調査、実験等におけるデータ処理を円滑に行うためのパソコンの基本的な技能

「対人・社会心理学科」

心理学部対人・社会心理学科では、学部学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・対人・社会心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。
- ・対人・社会心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。
- ・対人・社会心理学の研究に必要となる自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。
- ・対人・社会心理学の専門的技術の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。
- ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。
- ・対人・社会心理学の専門性を活かして社会に貢献していこうとする意欲をもっている者。
- ・

-学力の三要素に即した求める人物像-

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・対人・社会心理学に対する強い知的関心と学習意欲をもっている者。
- ・対人・社会心理学の専門性を活かして社会に貢献したいという意欲をもっている者。
- ・他者と協働して学修しようとする意欲をもっている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・対人・社会心理学の専門的技術の修得に必要なコミュニケーション能力、自己表現能力、および共感性を身につけている者。
- ・対人・社会心理学の研究に必要となる自らの知識・技能を活用して問題を解決するための思考力、判断力を身につけている者。

<知識・技能>

- ・対人・社会心理学の専門的知識の修得に必要な基礎学力を身につけている者。

-高等学校等で修得すべき具体的内容-

国語

- ・書籍や論文を理解するための読解力、および自分の意見を他者に伝えるための表現力

地理歴史・公民

- ・対人・社会心理学を人と社会の関わりの中で理解するための基礎的な知識、および歴史、文化に対する知的好奇心

外国語

- ・対人・社会心理学に関するより多くの知識を獲得するための基本的な英語力（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）、および獲得した知識を社会に還元するための国際的な視野

数学

- ・対人・社会心理学の研究手法、技法をより円滑に理解するための確率統計の基本的な考え方

理科

- ・生物としての人間の適応性を理解するための基本的なメカニズムに関する知識

情報

- ・ 調査、実験等におけるデータ処理を円滑に行うためのパソコンの基本的な技能